食卓を笑顔に、地域を豊かに。

コープみらい



[CO-OPMIRAI CHIBA INFORMATION]

ちばインフォメーショ



食べ物が余ってませんか? 食べ物に困ってませんか?

編集 コープみらい 千葉県本部 参加とネットワーク推進部 TEL:043-301-6684 FAX:043-301-6685 ホームページ コープみらい で検索!

ちばインフォメーションの誌面で募集している催し物、講座のお申し込みの際にお預かりした個人情報は、お申し込みの受付、詳しい資料やご案内の送付、必要なご連絡のために使わせていただきます。



明日への希望を応援しよう!

コープみらい 食卓を笑顔に、地域を豊かに



品質に問題がないのに廃棄せざるをえない食品を、企業や個人から寄付していただき、必要としている方に お届けしているフードバンク。コープみらいはこの活動を応援し、組合員の皆さんからもたくさんの食品を寄付 していただいています。

皆さんから寄付された食品がどのように必要な方に届けられているのか? そこには、お腹を満たすだけで なく、明日への希望につながる支援がありました。

編集部が体験してきたフードバンクちばの活動を報告します。

増えつづける支援依頼

フードバンクちばの事務所に入ると、大量の寄付された食品が積まれていました。柔和な笑顔で迎えてくれた代表 の菊地さんに作業の体験をする前に設立の話や現在の状況について伺いました。菊地さんは「2012年に就労支援 の活動をしてきたつながりで、失業者の自立の支援の一つとして、千葉県で最初の『フードバンク』を設立しました。 食品配送申請書が届いた時、こんなにも、食べるのに困っている人がいるのかと驚きました。その後も毎年依頼は 増えつづけています。加えて、今回の新型コロナウイルスの影響での休業や失業で苦しい状況の家庭、アルバイト が無くなった学生や留学生からの依頼も増えてきています」と話してくれました。

フードバンクちば代表 菊地 謙さん

フードバンクとは、生活 困窮者が生活を取り戻 すまでの緊急支援の1つ です。依頼者が希望を もって自立していただけ るように支援をしていき たいです。

依頼者の暮らしを思い浮かべて食品を選ぶ

早速、支援を必要とする家庭へ食品を宅配するため、普段はボランティアの方が 行っている食品の箱詰めを体験しました。

フードバンクちばには自治体の福祉窓口などから食品配送申請書が送られてき ます。そこに記載されている家族構成や電気・ガス・水道など使用可能かどうかなど の情報を読み取り依頼者の暮らしを思い浮かべて箱に詰めていきます。「そのまま 食べられるものでないとだめだね。栄養補助食品や、缶詰がいいかな」「甘いもの があると気持ちが和むかしら?」など、たくさんの食品を送りたい気持ちで、何度も 入れ直し箱の隅々までぎっしり食品を詰めます。スタッフから「フードバンクちばに は防災食の提供が多いので、すぐに食べられると喜ばれているんですよ」などと意 外な話に驚きました。

そして詰め終わった箱は宅配便で依頼者に届けます。



多くの食品に 圧倒されます。

食品は種類別、賞味期限別に 仕分けされ管理されています。

> 長牛産直からたまねぎを 提供いただきました。



申請書を見ながら食品を選びます



できるだけたくさん詰めていきます。

団体や企業から箱ごと寄付された 食品は、必要としている施設や子ど

明日への希望につながる支援

フードバンクちばへは多くの感謝の声が届い ています。そこには、お腹を満たすだけでなく、 明日への希望につながる支援がありました。

すぐに対応していただ き、たくさんの食材を 送っていただきました。 ありがたいという気持 ちといつかお返しでき たらなあという思いです

生活費が底をつき、苦 しい中、フードバンクを 利用させていただき救 われました。途方にく れる状況で、精神的に も持ち直すことができ



フードバンクちばに送られて きた感謝の手紙

多くの善意に支えられています

代表の菊地さんは、「支援の依頼者も増え続けていますが、『フードバンク』の認 知度も高まり、食品の寄付や毎月決まった額を寄付をしてくれる人、また団体や企 業の協力も増えています。地域に根ざしたフードバンク活動も増えました。しかし、 依頼が増える分だけ、倉庫代や食品を詰める箱代、宅配便の送料など運営費も増 えており、フードバンクの運営には大変な苦労があります」と言います。

フードバンクは、食品の提供、その食品を仕分けるボランティア、運営費用を支え るサポート会員など多くの人の善意に支えられて成り立つ活動です。

皆さんも自分のできる範囲で「フードバンク」の活動を支えていきましょう。

千葉県内のフードバンクについて詳細はこちらから

フードバンク ちば

フードバンク ふなばし

回转城

(フェイスブック)

コープみらいの店舗では下記の6店舗で食品回収ボックス を設置し、年間を通じて寄付を受け付けています。

コープ東寺山店・コープ花見川店

コープ薬円台店・コープ市川店 コープ鎌ケ谷店・コープ八千代店





「家族葬のファミーユ(鎌ケ谷会場)」にて

明日への希望を応援しよう! 「フードバンクふなばし」の活動

品質に問題がないのに廃棄せざるを得ない食品を、企業や個人から寄贈していただき、必要としている方にお届けしているフードバンク。コープみらいはこの活動を応援し、組合員の皆さんからもたくさんの食品を寄贈していただいています。

今回は、コロナ禍における新たな取り組みとして、支援が必要な方に実施会場に来ていただき、食品をお渡しする「パントリーピックアップ」を開始したフードバンクふなばしの活動を取材しました。

ひとり親になり10年以上…この活動はとてもありがたいです

来場した方の声を伺いました

40代女性(家族:中学1年)

ひとり親になり10年以上になりますが、娘も食べ盛りになり、お米をいただけてとてもありがたいです。

40代女性(家族:小学1年、中学1年、高校1年)

コロナ禍で仕事が見つからず不安の中、この活動のおかげで食事面の負担が軽くないました。働けるようにないましたが、子どもは放課後ルームでもらえるコープのおやつがいつも楽しみのようです。今日も真っ先にコープのあんパンを選んでいました。コープみらいの支援もありがたく思います。

20代女性(家族:6カ月、2歳)

別の会場に参加してから、今では月1回の食品配送支援 もお願いしています。上の子がよく食べるようになった ので、ここでお菓子をいただけてとても喜んでいます。

- ●笹田さん・岡田さんからメッセージ

支援が必要な方に必要な情報を届けたい

パントリーピックアップは、新しい取り組みでまだ手探りな状況です。どこの地域にニーズがあるのかもつかみ切れず[まずはやってみよう/]という精

神でスタートしました。まだこの活動の認知度が低いので、支援が必要 な方に必要な情報を行きわたらせることがこれからの課題です。





左) 笹田さん 右) 岡田さん

支援が必要な方に活動を伝えてください

コープみらいの組合員の皆さんにはいつも温かい気持ちでたくさんの食品を寄贈していただいており、本当にありがとうございます。フードバンクふたばしを立ち上げて3年目の今年はコロナ禍の影響を受け、配送依頼件数は8月末時点で211件と昨年1年間で対応した205件を大きく上回る見込みです。この厳しい現実の中、これからも支援の手が必要となりますので、今後も食品の寄贈にご協力をお願いいたします。

また、身近なところで支援が必要な方々がいらした場合には、 フードバンクふなばしの活動をぜひお伝えいただければ幸いです。 ※この活動は船橋巾任任の万 を対象としています。市外にお 住まいの方は、フードバンクちば (千葉県全域)・とうかつ草の根 フードバンク(東葛地域対象) などへお問い合わせください。



とうかつ草の村 フードバンク





(フェイスブック)



フードバンクふなばしではひとり親世帯を対象に、船橋市内で毎月2回パントリーピックアップを行っています。9月13日(日)は4組の親子が来場し、テーブルに並んだたくさんの食品の中から米やパン、缶詰、お菓子など必要な食品を選んで持ち帰っていました。

代表の笹田さんと副代表の岡田さんは来場者に明るく話しかけ、おしゃべりを通じて日々の様子を気にかけています。「家計が厳しくても主食費はなかなか削れないのでおやつ代を捻出できず、おやつを買ってあげられない家庭もあります。ここではお菓子も用意して、皆さんに喜んでもらえるようにしています」。この心づかいから来場者のくらしに寄り添った取り組みだと伝わってきます。

明日への希望を応援しよう!





品質に問題がないのに廃棄せざるをえない食品を、企業や個人から寄付していただき、必要としている方にお届けしている フードバンク。コープみらいはこの活動を応援し、組合員の皆さんからもたくさんの食品を寄贈していただいています。 今回取材した「とうかつ草の根フードバンク」には、子ども食堂を通じた明日への希望につながる支援がありました。

とうかつ草の根フードバンク 子ども食堂を通じてきめの細かい支援をめざす

「とうかつ草の根フードバンク」は、寄贈された食品を子ども食堂を通して、地域で必要としている家庭へ届けるフードバンクです。 生活に苦しむ人たちが増える中、東葛地域で食品を融通し合うなど協力して活動をしていた子ども食堂のネットワークが連携して 2019年に設立しました。企業からの大量の寄贈品などの食品をまとめて保管する倉庫に、約60カ所の子ども食堂が食品を取りに来 るという、全国でも珍しい形のフードバンクです。

とうかつ草の根 フードバンク 詳しくはこちらから ▼



子ども食堂は誰でも参加できるコミュニティですが、それ故にさまざまな困難を抱えた子ども達も参加する「地域のよりどころ」と なっています。地域に密着した活動をする子ども食堂を通じることで、さらにきめの細かい支援を目指しています。

悩みを抱える子ども達に安心できる居場所を

こがねはら 子ども食堂

仲間とともに「こがねはら子ども 食堂」を立ち上げ、とうかつ草の根 フードバンクの事務局長も兼ねて いる髙橋さんに伺いました。

以前知り合いから聞いた「学校給食だけで栄養を摂っている子どもがいる。 夏休みが終ると痩せて学校に来る」という貧困の現状に大変衝撃を受け、そん な子ども達にお腹いつばい食べてもらいたいとの思いで子ども食堂を立ち上 げました。家庭や友人関係などで悩みを抱える子ども達の居場所、自由に安心 して過ごせる場となってほしいと思っています。ここで過ごした子ども達が今 では就職し、ふらっと遊びに来てくれます。その成長した姿を見るとうれしく なり、それだけで十分な気持ちになります。



髙橋 京さん

子ども食堂を通じて知る貧困の現状

光ヶ丘 こども食堂

「光ヶ丘こども食堂」のスタッフに伺いました。

人は衣食住が足りてこと、生きる基礎を得るの ではないでしょうか。その中でも「食」=「食べる ことは生命の元」ですね。未来を担う若い人や子 ども達が生きづらい現在を少しでも変えていき たいものです。ちょっとしか力になれないかもし れませんが、ゼロよりはいいかな?そんな思いで 子ども食堂を開いています。

食事の申し込みのときのやりとりで、厳しい家庭環境や、失業などによる貧困の様子を知ることも あります。子ども食堂の活動を通じて生活の悩みを聴いてあげたり、「あの子はどうしてるかな?」と 一人ひとりを気にかけて見守ったり、これからもできることをサポートしていきたいと思います。



光ヶ丘こども食堂では、コロナ禍によ り今はお弁当を作って配っています。こ の日は寄贈されたわかめご飯に"ミック スベジタブル""ベーコン""バター"を 加えて洋風炊き込みごはんに仕上げまし た。夕方には順次申し込んだ人がお弁当 を取りに来るのでスタッフは大忙し。 チームワークも良く次々に出来上がって いきました。



とうかつ草の根フードバンクは、コープ新松戸店と東深井店の2店舗に食品回収ボックスを常設しています。 またコープみらいでは、ほかにも千葉県内の6店舗に常設し、積極的にフードバンクに協力しています。

フードドライブに ご協力ください 詳しくはこちらから



1 貧困をなくそう

12 つくる責任 つかう責任

8月5日・6日、フードバンクちばと、とうかつ草の根フードバンクを会場に、小学4年生から中学2年生までの 14人の子ども達が、記者となってフードバンクの活動を取材して食品ロスや貧困、SDGsについて学びました。

-ドバンクちば

子ども記者の作った 新聞はごちらから ご覧ください





「ボラシティアをやってみたW」 **~**ヲードバシクちば~

8月6日(金)の子ども記者体験には6人が参加しました。

前半は、フードバンクについて学習



「日本で食べられるのに廃棄される 食品は年間約600万トンに上ります。 -方、日本の子どもの7人に1人は相対 的貧困状態です。この廃棄される食品

を寄贈してもらい、困っている人に無料 で届ける活動がフードバンクですし

後半は、体験と取材

食品の仕分けを体験

てきぱきと賞味期限別に仕分け、決めら れた場所に収めていきます。 「みんな早い!助かるわ!」と、フードバ ンクちばのみなさん。





家族構成やどんな調理器具が使えるか を見て食品を決めています。電気や水 道を止められている人もいるからね。

今は増えてきたけれど、以前は、寄贈さ れる食品が少なくて、困っている人に 十分な食品を送れなかつたことです。

取材を終えて ~子ども記者の感想

外食で残すことがあった。これから は食品口スを減らしたい。

ご飯を食べられない困った人たちを 助けるボランティアがあることを 知って、やってみたいと思った。



8月5日(木)の子ども記者体験は、午前・午後の2回に分けて8人が参加しました。

「とうかつ草の根フードバンクは『子ども食堂からその先へ』をテーマに、東葛エリアの子ども食 堂を通して支援が必要な家庭に食材を届ける活動をしています」と、とうかつ草の根フードバンクの 田中さん。

子ども記者の皆さんは、松戸市や柏市などの子ども食堂が取りに来た食品の受け渡しを手伝いました。

どんな食品の寄付が うれしいですか? どんな時にやりがいを 感じますか?

食品の受け渡し後には「子ども 記者」からの質問タイム!

食品の仕分けも体験





あっという間に片付き、田中さんもビックリ! 「子ども達がこんなに戦力になるなんて! うれしい発見だわ♪」

そうね~、みんながもらってうれしい食べ物は何かな? お菓子かな? みんなが食べて 「おいしい」と思う食べ物はきっともらった人もうれしいよね。 みんなが好きなものをプレゼントする気持ちで寄贈してくれたらうれしいです。

このフードバンクには「人の役に立ちたい」という想いを持った仲間がたくさん集まっています。 支援を受けた方からの「ありがとう。助かりました」という声が仲間たちのやりがいになってい ます。今日をきつかけに、みんなもできることからお手伝いしてくれたらうれしいです。

-ドドライブキャンペーン開催中!! 9月1日~

長引くコロナ禍の中、フードバンクへの食料支援の依頼も倍増しています。 コープみらいは今年も県内のフードバンク、生協と連携してフードドライブキャンペーン を開催します。皆さんからの食品の提供をお願いします。

食品の寄贈は こちらで受け付けて います

コープ東寺山店・コープ花見川店

コープ薬円台店・コープ市川店

コープ鎌ケ谷店・コープ八千代店

コープ新松戸店・コープ東深井店

その他県内各地の受け付け会場はブロックニュースやコープみらいHPにて随時ご案内します。

